

「第3次相模原市環境基本計画の改定（案）」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

相模原市環境基本計画は、相模原市環境基本条例第8条第1項の規定により策定する、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画です。

令和2年3月に策定した「第3次相模原市環境基本計画」の計画期間は令和2年度から令和9年度までの8年間としていますが、策定から4年を経過した時点を目途に、評価・検証を行い、必要に応じて計画を変更することとしています。

こうしたことから、計画策定時からの社会情勢の変化に適切に対応するとともに、各施策の進捗状況等を踏まえ、望ましい環境像「人と自然が共生するまち」の実現に向けた施策の更なる推進を図るため、第3次相模原市環境基本計画を改定するものです。

この度、計画を改定するに当たり、市民の皆様からのご意見を募集しました。

その結果、1人の方から2件のご意見をいただきましたので、ご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和5年12月15日（金）～令和6年1月22日（月）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、広報さがみはら、窓口等への配架

資料の配架場所

ゼロカーボン推進課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山・橋本・中央6地区・大野南まちづくりセンターを除く）、各出張所、各公民館（沢井・星が丘公民館を除く）、各図書館、市立公文書館

3 結果

（1）意見の提出方法

意見数		1人（2件）
内 訳	直接持参	1人（2件）
	郵送	0人（0件）
	ファクス	0人（0件）
	電子メール	0人（0件）

（2）意見に対する本市の考え方の区分

- ア：計画案等に意見を反映するもの
- イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの
- ウ：今後の参考とするもの
- エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目	件数	市の考え方の区分			
		ア	イ	ウ	エ
第4章「施策内容」に関すること	2			2	
合計	2			2	

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
第4章「施策内容」に関すること			
1	<p>建築物への設備・機器の省エネルギー化の促進は重要なことと認識しており、ZEBやZEHの普及も大事な取組と理解している。</p> <p>ガスを利用する機器でも高効率化が進んでおり、ガスコジェネレーションシステム、ガスヒートポンプシステム、ハイブリット空調機、エネファーム等がありガスを利用した ZEBやZEHも増えている。</p> <p>都市ガスインフラは耐震化率の向上等により、大震災における供給支障件数が減少し、復旧期間が大幅に短縮している。また近年急増する台風や豪雨による風水害に対しては、他のインフラに比べて供給支障件数が圧倒的に少なく、災害時のエネルギー供給持続性が高いことが改めて注目されている。</p> <p>自然災害等による停電時にも、都市ガスが供給されていれば停電対応型コジェネは発電と排熱利用が可能である。</p> <p>また停電対応型ガスヒートポンプは空調や発電が可能であり、万一の災害時にも事業継続が可能となる。これらのシステムを採用することで、災害時にも業務継続可能なレジリエンス強化型ZEBを達成することができる。</p>	<p>いただいたご意見を参考にしながら、ZEHやZEBの導入を促進するための取組を進めてまいります。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
2	<p>脱炭素社会の実現に向けて水素エネルギーの利用促進は重要であると認識している。ガス事業者では水素の利用形態のひとつとして、「e-methane」の導入を検討している。</p> <p>「e-methane」とは、クリーン水素とCO₂からメタネーションという技術で製造された合成メタンである。</p> <p>「e-methane」も燃焼時にCO₂を排出するが、製造時の原料として、排気ガス等から回収したCO₂を使うため、実質的に大気中のCO₂は増えない。また、メタンの原料である水素を水の電気分解で生成する際、電力を再生可能エネルギーとして使用すれば、水素生成時にCO₂を排出しないため、</p> <p>「e-methane」はカーボンニュートラルなエネルギーとなる。</p> <p>「e-methane」は既存のLNGインフラ、都市ガスインフラを用いて輸送や供給が可能である。新規に脱炭素化エネルギーの社会実装を実施するには莫大な投資が必要だが、都市ガスを</p> <p>「e-methane」に置き換えることにより、経済的にガスのCO₂ネット・ゼロを目指すことができる。</p>	<p>水素エネルギーの利用促進に向けた取組を進めるとともに、いただいた意見を踏まえ、水素エネルギーに関する技術革新の動向を注視してまいります。</p>	ウ